

令和3年度第2回総務委員会

議 事 録

1. 開催日時 令和3年10月11日（月）午後3時～午後3時50分
2. 開催場所 東京都トラック総合会館 4階会議室
3. 議 長 水野功委員長
4. 出席者 **(協会出席者)**
水野功委員長 竹内政司委員長代理 鈴木隆志副委員長
田中敏之委員 吉田浩一委員 秋山悟委員 大島弥一委員 篠崎眞委員
田中秀明委員 松本有司委員 浅野利幸委員 鈴木貢委員
吉本商一委員 笠原史久委員
(Web出席者)
中山勝彦委員 松原伸行委員 三村偉一郎委員 土屋秀明委員 大高一義委員
星野昌康委員 村上雅英委員 北澤聡委員 下川芳延委員
(事務局)
山崎専務理事 加藤常務理事 遠藤常務理事 宮城常務理事
中村業務部長 齋藤財務部長 門倉適正化事業部長 矢崎交付金会計担当部長
遠藤業務部次長 前川業務部次長 井上総務部次長 武信総務グループ長
5. 審議事項 (1) 検討事項の確認と検討スケジュールについて
(2) その他
6. 決定事項

1. 理事数について

- 理事の定数は現行の120名から削減する（80～90名程度を想定）。
- 支部枠の定数を定めるルールを策定にあたっては、支部の会員数を中心として積み上げ方式（支部の考えを本部に反映させ、本部からの情報を支部内で共有するのに必要な理事数は最低限何人なのかという視点）で検討する。
- 本部枠（会長指名枠）の定数や支部枠と本部枠の重複なども検討してルールを策定する。
- 策定したルールに基づき、支部枠の定数を定める基準（会員数・車両数など）を設定する。
- 令和6年度の移行を目指す。

2. 常任理事制度について

- 常任理事（会）は廃止する方向で手続を進める（定款の変更手続が必要）。
- 令和4年度の移行を目指す。

3. 評議員制度について

- 評議員の定数は現行の114名から削減する（理事定数と同等または以下を想定）。
- 削減後の評議員定数は全支部に振り分けるが、支部間の理事定数の差にも配慮する。
- 令和6年度の移行を目指す（正副会長会からの提言を踏まえ、令和4年度から変更）。

4. 支部のあり方について

- 支部運営の効率化や支部間の格差是正のため、ブロック制を導入する方向で手続を進める。
- ブロックの振り分け方の基準として、会員数（1ブロック何名程度を想定するか）、支部数（1ブロックに集約される支部はいくつが上限か）、地域性（隣接支部や警察署とのこれまでの活動経緯をどの程度まで考慮するか）などを検討する。
- 各ブロックにブロック長を配置する。
- 正式移行の前にパイロットブロックを試行し、財政面・会員サービス面での効率化や事務局業務の集約等の可否につき検討する。
- 令和6年度の移行を目指す。

7. 今後検討すべき事項

- 理事定数の変更が役員改選に与える影響度（移行時期などの検討）
- パイロットブロックの設定方法（本部指定・支部の立候補など）
- ブロック制度の導入に伴う支部内での情報共有の徹底（正副支部長・事務長による協議など）
- ブロック長の選定方法（支部長の中から選定・副会長が担当など）

8. 報告事項

- 東京都トラック協会の今後のあり方検討委員会中間報告